

ローターアクトからロータリーEクラブへ

2016年3月17日

福山ロータリーEクラブ2710

会長 目崎章悟

■ローターアクトクラブについて

※ローターアクトクラブの説明はすでに広島 RAC の卓話で紹介されていますので簡単に自分の体験をご説明いたします。

私自身がローターアクトクラブで得た、知識や経験などは、仕事やその他の活動に大いに活かしています。この素晴らしいロータリーのシステムを多くの若者たちへ伝えて、将来のロータリアンとなるべく人材育成に努めたいと思います。

■福山ロータリーEクラブ2710

名 称	福山ロータリーEクラブ 2710 所属地区:国際ロータリー第 2710 地区 English official Name: Rotary E-Club of D2710 Fukuyama, Japan
地 域	ロータリー・クラブが存在する全世界の国・地域(使用言語:日本語)
創 立	2013年(平成25年)3月31日
スポンサー	R.I 第 2710 地区 福山ロータリー・クラブ
R.I 認証	2013年(平成25年)4月5日
例会日程	月曜 12:00～翌月曜 12:00 まで
例会会場	Web ページ上 http://rotaryeclub2710japan.org/
事務所	〒721-0973 広島県福山市南蔵王町 4 丁目 1 番 22 号 有限会社快適情報社内 E-mail: info@rotaryeclub2710japan.org

■ロータリーEクラブとは

ロータリーEクラブとは、オンラインで例会を開くロータリークラブです。6年間の試験期間を経て、2010年6月30日より、ロータリーEクラブは正式に国際ロータリーの加盟クラブとなりました。

ロータリーEクラブは、例会をオンラインで開くことを除けば、基本的にほかのロータリークラブと変わりません。従来のクラブと同じ指針と手続きに従いながら、奉仕プロジェクトを実施したり、ロータリー財団を支援したり、会員間の親睦を楽しんだりします。身体的事情、地理的事情、仕事のスケジュールなどの理由で、決まった時間の週例会に行くことができないという事業・専門職・地域のリーダーにとって、Eクラブは、ロータリークラブ入会の可能性をもたらす選択肢となります。

各ロータリーEクラブは一つの地区に割り当てられますが、会員は、ロータリーが存在する国や地域ならどこに住んでいても構いません。

■当クラブの運営方法について

例会は毎週1回、24時間、ホームページ上で開催します。クラブの全ての会務はホームページ上で行い、各自が1週間以内にホームページに掲載されているロータリーの理念や奉仕活動実践などを閲覧し、それに対する意見を書き込んだり、自分自身の体験談や参加した奉仕体験などを書き込むことにより例会参加とします。

例会は基本ホームページより参加できますが、今年度よりFacebookを活用した例会投稿システムに変更しました。また、理事会・委員会は遠方会員については、ハンガアウト(グーグルアカウント)を使い、ビデオ会議にて行っています。会長の時間・卓話・報告事項・活動内容はYouTubeにて動画配信しております。委員会連絡事項などはメール・伝助を利用してスピーディーに対応しています。

基本的にはホームページ上やSNSを活用した方法でのコミュニケーションとなりますが、時には、会員一同が親睦のために実際に顔を会わしての会合を年に数回行っています。

また、SNSの苦手な方に対しての勉強会も毎週(前期)行ってきましたし、ロータリーの基礎知識向上のための情報集会も数回行っています。

奉仕活動の実践は、各奉仕部門ごとに行い、社会奉仕は清掃活動・福祉施設への寄付活動、国際奉仕は電子辞書貸与事業、青少年奉仕は福山ローターアクトクラブとの合同事業を行っています。

また、2年連続で米山記念奨学生の世話クラブ、そして、私が今年度のカウンセラーも担当しています。

ベトナム人の彼女は、今春晴れて大学生になります。志望校ではないですが、鳥取大学の工学部へ進学いたします。また、この4月からの米山奨学生の世話クラブになり、3年連続で担当します。

E クラブは誕生してまだ歴史が浅く、認知度も低いのが現状ですが、今の世情にあった新しい形態のクラブであると言えます。

24時間どこからでも例会参加やメーキャップできるメリットがある反面、会員同士が直接会う回数が少なく、コミュニケーション不足になりがちです。そのコミュニケーションも前述通り、SNSを活用すればかなり解消できます。

まだまだ未熟なクラブですが、少しずつ認識されながら、進化していきたいと思っています。